

第13回県政戦略会議の概要

- 1 開催日時：平成22年3月25日（木）9：00～10：00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、各部局長等
- 4 欠席者：東紀州対策局長、環境森林部廃棄物政策担当理事
- 5 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1：次期戦略計画策定に向けた取組について（政策部）

- ☆ 基本方針で、『希望の舞台づくり』を展開していくため、『文化力』と『新しい時代の公』で取り組む」となっているが、いずれも「県民しあわせプラン」に掲げられ、既に進めていることであり、手段と目的が逆になっているように読める。
『文化力』と『公』に取り組むことより、『希望の舞台づくり』を進める」とする方がよいのではないか。
- 「県民しあわせプラン」に「文化力」は含まれておらず、第二次戦略計画で新たに柱として入ってきた。
現在もその考え方で取り組んでいるが、次期計画においても具体的な取組を展開するには、「文化力」と「公」を進めていかないといけない、という意図で記述している。記述を入れ換えると、新たな概念を加えるように読めないか。
- ☆ 「文化力」と「新しい時代の公」については、前段でも説明をしているため、このままでよいのではないか。
- ☆ こどもについては、「各世代にわたって」という言葉に含むとのことだが、もう少し記述があってもよいと思う。
- いろいろな分野や世代を束ねて記述しているため、こどもの分野に特化した内容を書き加えることは厳しい。
- ☆ こどもや若者を一つの分野としてとらえるのではなく、「こどもや若者が夢や希望を抱ける」ということが、次期計画のベースや味付けとして大切である。
- ☆ こどもの話は大切なことであり、30代の意識調査も行っている。基本的な考え方の中に追加する方向で、もう少し工夫してはどうか。
- ☆ 多文化共生もこれから重要な案件である。策定方針にふくらみをもたせるためにも、記述すべきではないか。

- ☆ アンケートを実施する場合、策定方針を添付するのか。次期計画に向けての時代環境の認識が必要であり、そこが判らないと必要な回答が出てこないのではないか。
- ☆ 策定方針を添付すると誘導する可能性もある。慎重にすべき。
- ☆ 県民に意見を求めるにあたり、特に理念的なものについては、考え方や柱になることに対して問うほうがよい。そのために、県の基本的な考え方をまとめたものを添付すべき。
なお、自由記載欄を設けて、自由に意見が述べられるようにしておくことも大切。
- 策定方針をコンパクトにまとめるなど工夫する。
- ☆ 会議等が終わって早く帰りたいと思っているところでは、アンケート項目が多い。もっとコンパクトにすべき。

- ☆ 資料1-1（別紙）のスケジュールを示してはどうか。
また、「希望の舞台づくり」については、今後リーダーシップ研修で議論していくことになる。

議題2：緊急雇用・経済対策について

- ☆ 雇用情勢を鑑みて、重点分野雇用創造事業などを5月補正で対応することも検討してはどうか。

- 新体制で4月に緊急雇用・経済対策会議を開催する予定である。また、地域人材育成事業の新分野、新卒未就職者対策についても、その場で検討したいと考えている。